

福岡県立大学社会福祉学会 第17回大会開催のご案内

【共 催】

福岡県立大学社会福祉学会・福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科

【後援(予定)】

(社福)福岡県社会福祉協議会	(公社)福岡県社会福祉士会
(一社)福岡県精神保健福祉士協会	(一社)福岡県医療ソーシャルワーカー協会
(公社)福岡県介護支援専門員協会	(一社)福岡県スクールソーシャルワーカー協会

【 大会テーマ 】

「これからの地域共生社会と福祉実践」

【 日 時 】

2025(令和 7)年 12 月 20 日(土)13:00~17:00

(12:30~受付)

【 会 場 】

福岡県立大学 講堂

(福岡県田川市大字伊田 4395 番地)

1.「福岡県立大学社会福祉学会第 17 回大会」開催のご挨拶

会長 鬼崎 信好

本年も第 17 回福岡県立大学社会福祉学会大会を開催できますことは、柴田学長を始め多くの皆様方のご協力の賜物と感謝を申し上げます。

さて、今年の 12 月 20 日(土)に第 17 回福岡県立大学社会福祉学会を田川の地(福岡県立大学講堂)で開催することになっています。大会テーマは「これからの地域共生社会と福祉実践」とし、基調講演とシンポジウムを企画しております。基調講演は、道躰正成(どうたい・まさなり)氏を講師としてお招きし、「地域共生社会を拓く～神奈川県障害福祉行政に関わって見えてきたもの～」というテーマでお話いただく予定です。道躰氏は、福岡県立大学の前身の「福岡県社会保育短期大学社会福祉科」の卒業生です(参考までに記しますと、福岡県立大学の系譜は、第二次世界大戦後に設置された「福岡県立保母養成所」、「福岡県社会保育短期大学」、「福岡県立大学」という系譜になります)。

道躰氏は短大在学中から障害者福祉分野に関心があり、知的障害者の作業所(現・障害者支援施設)でボランティア活動に参加されていたようです。短大を卒業後は県立施設等の嘱託職員経て、1989 年に別府の国立重度障害者センターに就職されています。1 年後に、厚生省(現・厚生労働省)に転勤されることになり、東京への異動の前にご挨拶にお見えになり、短大の社会福祉実習室で親しくお話をさせて頂いたことを覚えています。

これ以降、道躰氏は障害者福祉行政を中心に、厚生行政の最先端の業務に関わってこられました(別の言い方をすれば、障害者福祉に焦点化して記すと、(福祉の)措置制度確立期→障害者支援費制度試行期→障害者福祉サービス契約制度に転換期する時代の厚生行政に深くコミットされている方です)。

現在は神奈川県庁福祉子どもみらい局参事監という要職に就任されています。ご承知の通り、神奈川県では国民を震撼させる事件がありました。2016(平成 28)年 7 月 28 日未明に、県立の知的障害者施設(県立津久井やまゆり園)で元職員による利用者への大量殺害事件が起こされたのです。日本社会に大きな衝撃を与えたことは言うまでもありません。神奈川県庁としても、重い障害がある方々への支援体制の抜本的な見直しに取り組むことになりました。そこで、障害福祉行政のエキスパートである道躰氏を招聘し、神奈川県全体の「地域共生社会づくり」に取り組むことになったのです。

また、道躰氏の基調講演を踏まえて、シンポジウムを実施します。シンポジウムでは、福岡県内の福祉現場で活躍されている 3 名のシンポジスト(内 2 名は卒業生)をお迎えし、「地域共生社会の実現に向けた実践」について、具体的な実践内容をお話いただきます。

今大会では、基調講演とシンポジウムを通して、障害者福祉の在り方、地域共生社会づくりを考えていきたいと思いをします。

2. 基調講演(リカレントセミナー)

テーマ： 地域共生社会を拓く

～神奈川県障害福祉行政に関わって見えてきたもの～

講師： 道躰 正成 氏

(神奈川県庁 福祉子どもみらい局 参事監)

【講演内容】

2015(平成 27)年 9 月、厚生労働省が取りまとめた「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」において、「地域共生社会」という言葉が制度・政策として打ち出されから凡そ 10 年、今日、それは、あらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる、参加と協働の地域コミュニティと意味付けられ、福祉関係者にはすっかり定着した考えとなったのではないのでしょうか。

とはいえ、市町村数は1700以上あり、地域共生社会の実現に向けた取組みは、未だ全国に遍く広がっているわけではないという指摘もあります。加えて、少子高齢化のさらなる進行、労働の担い手となる現役世代の急減、コミュニティの機能喪失といった、いわゆる 2040 年問題を間近に控え、国では地域共生社会のあり方検討会議が設置され、本年 6 月、中間まとめが公表されたところです。

このような状況下、神奈川県もいよいよ人口減少の局面を迎えており、医療・介護とともに、障害福祉分野についても、今後、サービス提供体制の維持と質の確保が大きな課題となることは明白で、これまで、長期的な視点から県の障害福祉を展望し、県の障害関係施策の基本的な規範となる新たな条例を制定するなど、関係施策の総合的・計画的な実施に注力しています。

こうした現在の県障害関係施策の取組みは、2016(平成 28)年に発生した「津久井やまゆり園事件」を抜きには語れません。同事件をきっかけに、これまでの障害福祉に係る県行政の負の実態が広く知られることとなり、その在り方について、大きく見直すことが求められたのです。

本リカレントセミナーご参加の皆さまには、私が 2021(令和 3)年 1 月から約 5 年にわたって関わってきた神奈川県行政について追体験していただき、もしそのことが、(多くが「半面教師」としてとは思いますが)皆さまのお地元での実践の参考になれば幸いです。

【プロフィール】

出身：福岡県柳川市

生年：昭和36年(1961年)(満64歳)

所属：神奈川県庁 福祉子どもみらい局 参事監(福祉改革担当)

経歴：

福岡県社会保育短期大学で社会福祉を学ぶ

福岡県立福岡学園(当時教護院)の夜勤職員、福岡市社会福祉事業団の知的障害者通所授産施設で職業指導等に従事、その後、重度の知的障害者の生活の場づくりや、重症心身障害児のおもちゃ図書館活動等に参加

一身上の都合から平成元年に厚生省の付属機関である国立別府重度障害者センターに奉職し、平成2年から厚生省本省勤務、福祉人材確保対策、福祉用具法の施行事務、阪神・淡路大震災の災害救助の担当等を経て、社会福祉基礎構造改革(平成9～12年)や、障害者自立支援法の施行事務(平成18年)に携わる

沖縄県庁 福祉保健部参事(平成19年、20年)、厚生労働省障害保健福祉部(自立支援振興室長他)、独立行政法人 福祉医療機構、北海道厚生局、東海北陸厚生局を経て、令和3年、神奈川県庁 福祉子どもみらい局に出向

神奈川県庁では、共生担当参事監(令和 4 年から福祉企画参事監)として、津久井やまゆり園事件を契機とした神奈川の障害福祉施策の見直し作業に参画、「当事者目線の障がい福祉に係る将来展望検討委員会」の運営、「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」の制定に関わり、令和 7 年から福祉改革担当参事監として、県立中井やまゆり園の地方独立行政法人への運営移行プロジェクトに加わる

3. シンポジウム

テーマ：「地域共生社会の実現に向けた実践」

◇シンポジスト

馬男木 幸子氏(社会福祉法人福岡市社会福祉協議会)

高原 洋城 氏(田川市福祉部生活支援課)

奥村 安德 氏(社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会)

◇コメンテーター

道躰 正成 氏(神奈川県庁 福祉子どもみらい局 参事監)

◇コーディネーター

村山 浩一郎 氏(福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科 教授)

【シンポジスト紹介】

- ・馬男木 幸子 氏 : 社会福祉法人福岡市社会福祉協議会地域福祉部長。福岡市社協に2000年入職。地域での見守りの仕組みづくりや居場所づくりの支援のほか、企業・大学・JAなど多様な主体との協働による地域生活課題の解決に取り組んでいる。2022年より現職。
- ・高原 洋城 氏 : 福岡県立大学卒業後、大学院へ進学。修了後、地域包括支援センターへ就職し、2年間勤務。平成25年より田川市役所へ入庁。社会福祉士として、高齢者分野6年、生活保護分野1年、児童福祉分野3年を経験し、現在、生活困窮者分野に従事。
- ・奥村 安德 氏 : 福岡県立大学卒業後、(社福)北九州市手をつなぐ育成会に入職。生活支援員やサービス管理責任者として実績を積む。2013年内閣府成年社会活動コアリーダー育成事業プログラムで海外研修にも参加。現在、2か所の事業所長。

4. プログラム

12:30～13:00	受付(管理棟講堂前)
13:00～13:15	開会
13:20～14:30	基調講演(リカレントセミナー) 「地域共生社会を拓く ～神奈川県障害福祉行政に関わって見えてきたもの～」 講 師 : 道 躰 正 成 氏 (神奈川県庁 福祉子どもみらい局 参事監)
14:30～14:40	休憩
14:40～15:50	シンポジウム(第17回大会) テーマ:「地域共生社会の実現に向けた実践」 シンポジスト ・馬男木 幸子氏(社会福祉法人福岡市社会福祉協議会) ・高原 洋城 氏(田川市福祉部生活支援課) ・奥村 安徳 氏(社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会) コメンテーター ・道躰 正成 氏(神奈川県庁 福祉子どもみらい局 参事監) コーディネーター ・村山 浩一郎 氏(福岡県立大学人間社会学部 教授)
15:50～16:05	休憩
16:05～16:50	質疑応答・コメンテーターからの講評等
16:55～17:00	閉会
17:10～17:40	総会
18:30～20:30	懇親会 会場:山賊鍋 田川本店 (田川市伊加利六反田 2101-2 TEL0947-45-8987)

5. 大会参加費及び懇親会参加費

	会 員	非会員	大学院生	学 生
学会参加費	2000 円	3000 円	1000 円	無料
懇親会費	5 000 円			3000 円

※基調講演については、福岡県立大学共催のリカレントセミナーと同時開催としますので、どなたも無料でご参加いただけます。

※懇親会費には、ソフトドリンク代のみ入っています。当日アルコールをご注文される方は、別途実費となりますので、よろしくお願いいたします。

6. 参加申し込み方法

基調講演及びシンポジウムにご参加の方は、下記の(1)QR コード(URL)から Microsoft Forms にアクセスしていただき、必要事項を記入していただくか、(2)別紙 1 の「参加申込書」にご記入の上、FAX にてお申し込みください。なお、参加申し込み締切は、12月12日(金)までとさせていただきます。

★お申し込み先



(1)Microsoft Forms

<https://forms.office.com/r/LuC8UvAiKH?origin=lprLink>

(2)FAX 番号:0947-42-6171(大学代表)

◆ ご質問等ございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

福岡県立大学社会福祉学会第 17 回大会 事務局

福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科

福岡県田川市伊田 4395 番地

TEL:0947-42-2118(代表) FAX:0947-42-6171(代表)

事務局長 松岡 佐智 matsuoka@fukuoka-pu.ac.jp

(別紙1)

FAX : 0947-42-6171

福岡県立大学社会福祉学科 松岡佐智 行

福岡県立大学リカレントセミナー及び社会福祉学会第17回大会

参加申込書

名前

住所

所属

卒業年度 (福岡県立大学卒業生の方のみ) :

TEL:

E-mail:

※ ご提供いただきました「個人情報」につきましては、本学会以外の目的では使用いたしません。

①基調講演 (参加費無料)

《 参加する ・ 参加しない 》

②シンポジウム (参加費が必要です: 学会員 2000 円、非学会員 3000 円、
大学院生 1000 円、学部生 無料)

《 参加する ・ 参加しない 》

③懇親会 (参加費 5000 円、学部生の方は 3000 円)

《 参加する ・ 参加しない 》

④その他、学会へのご要望等がございましたらお書き下さい。

12月12日 (金) 締切